

原発事故は収束していない 新たな汚染水漏れ、相次ぐ

2011年3月11日の原発事故から4年。福島第1原発では汚染水が海に漏れだしていることが相次いで明らかになり、漁業者などから批判の声が上がっています。なかでも2号機の原子炉建屋の屋上にたまっていた放射性物質が流され、雨どいや排水路を通じて高濃度で外洋に漏れ出していたことは重大です。安倍首相は、汚染水は「アンダーコントロール」（管理下）にあり、影響は「ブロック」（封じ込め）されていると言い続けていますが、まったく事実にもとづかないものです。

汚染水問題に象徴されるように、福島第1原発事故はいまだ収束しておらず、事故原因も明らかになっていません。政府が責任を持ち、英知を結集して事故収束に全力をそそぐことが何よりも必要です。

再稼働などとんでもない

政府は、鹿児島県川内原発、福井県高浜原発を皮切りに、全国の原発を再稼働させようとしています。しかし、再稼働の前提となる「新規制基準」には、過酷事故に対する住民の安全確保も、複数の原発が同時に事故を起こした場合の対策も考慮されていません。

原発が停止して、500日をこえました。原発がなくても電力は足りています。原発を再稼働するなど絶対に許されません。

人類と原発は共存できない 3・11から4年 原発ゼロの決断を



「福島を見捨てるな」県民の声

福島の避難者は依然として11万9千人に上り、避難者へのアンケートでは70%の人々が心身に不調を訴えています。原発事故を原因とした自殺が60人、仮設での孤独死は34人にのぼっています。アルコール依存症が増えていることも指摘されています。震災関連死が1862人となり、津波による直接死1603人を大きく上回っています。

しかし昨年の暮れ、東電と国は営業補償と労働不能保障をあと1年後に打ち切る方針を示し、県民から「我々を見殺しにするのか」という大きな怒りの声が上がりました。

「福島切り捨て」と原発再稼働を一体に進める政府・財界に対して、全国で怒りの声が上がっています。「原発ゼロ」は、確固とした民意です。

ZENROREN 全労連 全国労働組合総連合

〒113-8462 東京都文京区湯島2-4-4 TEL (03) 5842-5611 FAX (03) 5842-5620
<http://www.zenroren.gr.jp>

2015.3

原発即時ゼロ
を求める

福島100万人署名に
ご協力ください。

